

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部地域づくり課		■担当係	地域協働係
■評価事業名称	市民公募型協働事業補助金			
■事業開始年度	平成30年度			
■評価事業コード	090100 - 245	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	03 市民・企業と行政の協働体制の構築		
	■施策	01 協働の定着と拡充		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	地域社会の課題解決や、地域活性化を図る市民活動、地域づくり活動並びに事業所の地域貢献活動等に補助金を交付し、「協働によるまちづくり」の実現を目指すもの。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	市民公募型協働事業補助金	市民	市民公募型協働事業(まちづくりチャレンジ補助金)の実施事業に補助金交付	○市民公募型協働事業(まちづくりチャレンジ補助金)の実施補助額:800千円・応募5件、採択事業3件

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費				847	
人件費				4,304	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				5,151	

## 4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

事前勉強会を開催するなどしたが、応募団体数は少なかった。一方で、勉強会の段階で課題や計画を練ることができたことで、その後の順調な事業実施につながった。また、すでに活動実績のある団体の活動を補助するという役割は果たすことができた。

### 問題点・課題等

本補助金を通して、新たな市民活動の開始や、市民団体の設立のきっかけを作ることができていない。また、市内NPO法人による類似の補助金制度も開始されている。加えて、平成30年度にアンケート調査を既応募団体に行った結果、問題点や使いにくい部分が多く見つかった。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

「市民参画と協働の検証」において、事業プロセスを検証後、事業廃止も含め見直しを進める。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了